

患者さん自身の血液から外科治療に必要な血液製剤をつくる「クリオシールシステム」を導入し、新聞・テレビで報道されました

クリオシールシステムとは、患者さんの外科治療に必要な血液製剤のひとつである「フィブリン糊製剤」をその治療を受ける患者さん自身の血液から作成する機器です。

これにより、手術で使用される輸血や血液製剤に伴うリスク、ウイルスなどによる血液感染を回避できます。自己血を利用する医療の推進は、厚生労働省の指針において平成29年度にはじめて「これを推進することが望ましい」と盛り込まれたところ です。



8月3日 北日本放送 KNB news every.

[ホームページ](#)